

製品名: コネキシン 31.3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09229**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	GJC3
別名	GJC3; GJE1; Gap junction gamma-3 protein; Connexin-30.2; Cx30.2; Connexin-31.3; Cx31.3; Gap junction epsilon-1 protein
遺伝子 ID	349149.0
SwissProt ID	Q8NFK1
免疫原	抗血清はヒト GJC3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

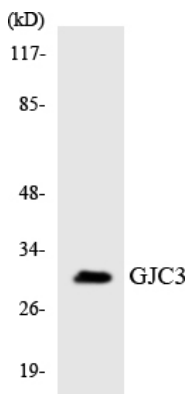
この遺伝子はギャップジャンクションタンパク質をコードします。コネキシンとしても知られるこのタンパク質は、隣接する細胞間

の直接的な接続を提供するギャップジャンクションの形成に関与しています。この遺伝子の変異は、非症候性難聴との関連が報告されています。[RefSeq 提供、2010年2月],機能: ギャップジャンクションは、コネクソンと呼ばれる膜貫通チャネルが密集したクラスターで構成され、低分子量物質が細胞から隣接する細胞へと拡散します。、類似性: コネキシンファミリーに属します。ガンマ型サブファミリーです。、サブユニット: コネクソンは、コネキシンの六量体で構成されています。、組織特異性: 中枢神経系特異的。発現は脳、脊髄、坐骨神経に限定されています。 PubMed:12881038 によれば、この遺伝子の発現は骨格筋、肝臓、心臓で豊富であり、脾臓と腎臓でも少量である。

研究分野

-

画像データ



GJC3 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。